

第6回 東大院生による ミニレクチャプログラム

Academic Commons Supporter

幸田 理恵

2016.02.12

新しい図書館

×

新しい教育

新しい図書館 ～ライブラリープラザ～

- ライブラリープラザ
 - グループ学習の場
 - 知の交流の促進



右図: 東京大学基金 HP: <http://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt31.htm>

下図: 東京大学新図書館計画 HP: <http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/>

新しい図書館 ～ACS～

新図書館



Academic Commons Supporter

・アカデミックコモンズサポーター(ACS)

- ・課題発見型ボランティア
- ・図書館教職員と一緒に企画、運営

・プロジェクト例

- ・ミニレクチャプログラム
- ・新図書館計画パンフレット
- ・他大図書館の学生グループと交流
- ・図書館関係者へのインタビュー

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/acs>

みんなのアイデアが集まったら、
どんな新図書館ができるだろう？

新図書館計画の情報を学内外に発信してみたい

新図書館を利用した研究・学習の新しいスタイルを考えてみたい

東大生によるミニレクチャプログラムの企画・運営がしたい

第4期 ACS
(アカデミックコモンズサポーター)
学生ボランティア募集

対話と実践を重ねて、新図書館計画に東大生の声を届けます
ACSの活動と応募の詳細は http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/post_acs/2703

概要
東京大学は、本郷キャンパス総合図書館を大幅に拡充し、大学図書館の在り方を再構築する「新図書館計画」に取り組んでいます（工事 2013 年～2019 年予定）。
附属図書館では、新図書館計画に学生の立場から参加する学生ボランティア「アカデミックコモンズサポーター」を募集します。いま生まれ変わろうとしている図書館の、まったく新しい姿を描くために、経歴も専門も違う学生同士が対話と実践を重ねて、理想の図書館を実現する方法を探っていきます。
あなたも未来の図書館を一緒に考えてみませんか？

応募方法
応募資格：東京大学の学部学生・大学院生
応募方法：ac_boshu@lib.u-tokyo.ac.jp 宛にメール件名を「ACS 応募」にして以下の事項を連絡
1. 名前 2. 学部・研究科 3. 学年 4. 電話番号
5. メールアドレス 6. 活動予定の中で参加したい活動があるか。また、それに関連した経験（イベント企画、Web コンテンツ作成や広報活動 etc.）があれば教えてください。
ACS 応募者向け説明会あり（4 月下旬予定）
*ご都合の合わない方は応相談

活動予定
・大学院生によるミニレクチャイベントの開催
・新図書館計画関係者へのインタビューと Web 発信
・ツイッター、Web サイトでの情報発信
※このほかにも ACS メンバーのアイデアを企画にすることができます

注意事項
※ジュニア TA ではありません（謝金はしません）。
活動場所：原則として総合図書館（本郷キャンパス）
活動時間・頻度は参加者の条件等を勘案のうえ、決定します。

第4期活動期間：2015 年 5 月～2016 年 3 月（第 5 期以降の活動も予定しています）
応募締切：2015 年 4 月 20 日（月）
募集締切後も途中参加が可能な場合がありますので、関心のある方はぜひお問い合わせください。

東京大学附属図書館 ACS 募集担当
<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/acs>
twitter @acsUTokyoNewLib

新しい図書館

×

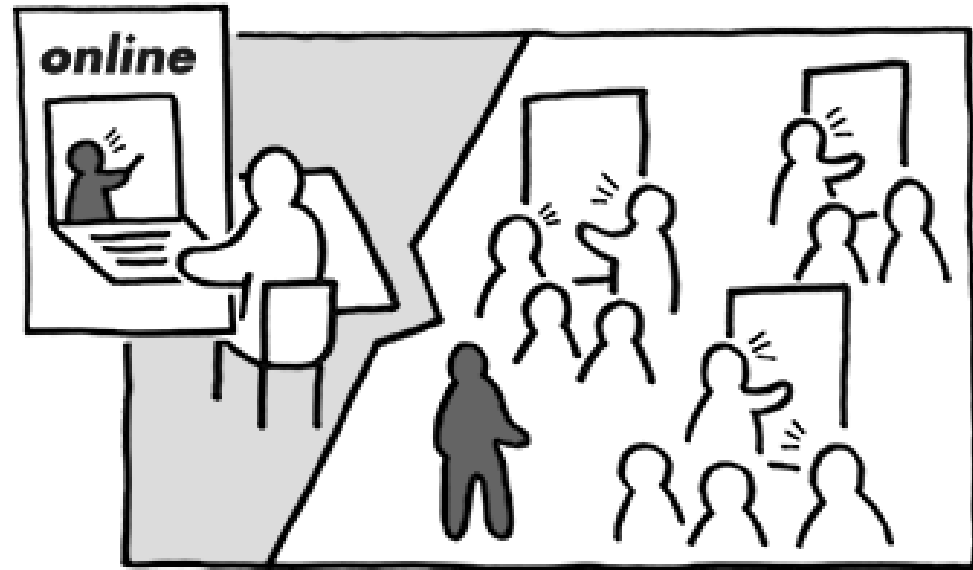
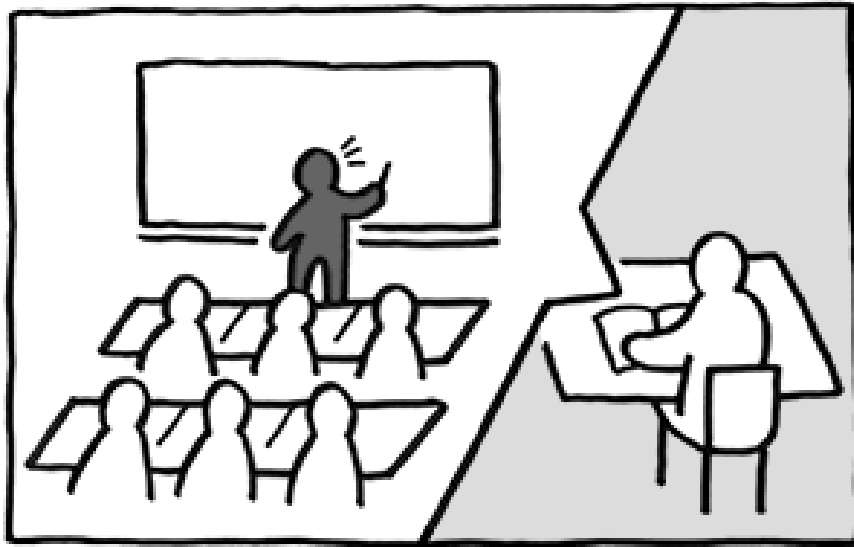
新しい教育

新しい高等教育 ～学生主体の教育へ～

これまでの教育
一方向・教員主体



これからの教育
双方向・学生主体



アクティブラーニング
(Active Learning)

新しい高等教育 ～東大 FFP～

- 東京大学 Future Faculty Program (FFP)

- 授業法を教える授業
- インタラクティブな授業展開
- 全学的なプログラム
- 多様な専門分野の院生が集結



東大FFP – 構成 –

プレワークショップ

高等教育の現状

大学教育開発論
(大学院共通授業科目)

授業技法・学習科学
シラバス作成
クラスデザイン
評価
模擬授業 など

ポストワークショップ

ポートフォリオチャート

プレワークショップ

高等教育の現状





大学教育開発論 (大学院共通授業科目)

授業技法・学習科学
シラバス作成
クラスデザイン
評価
模擬授業 など



東大FFP



ポストワークショップ

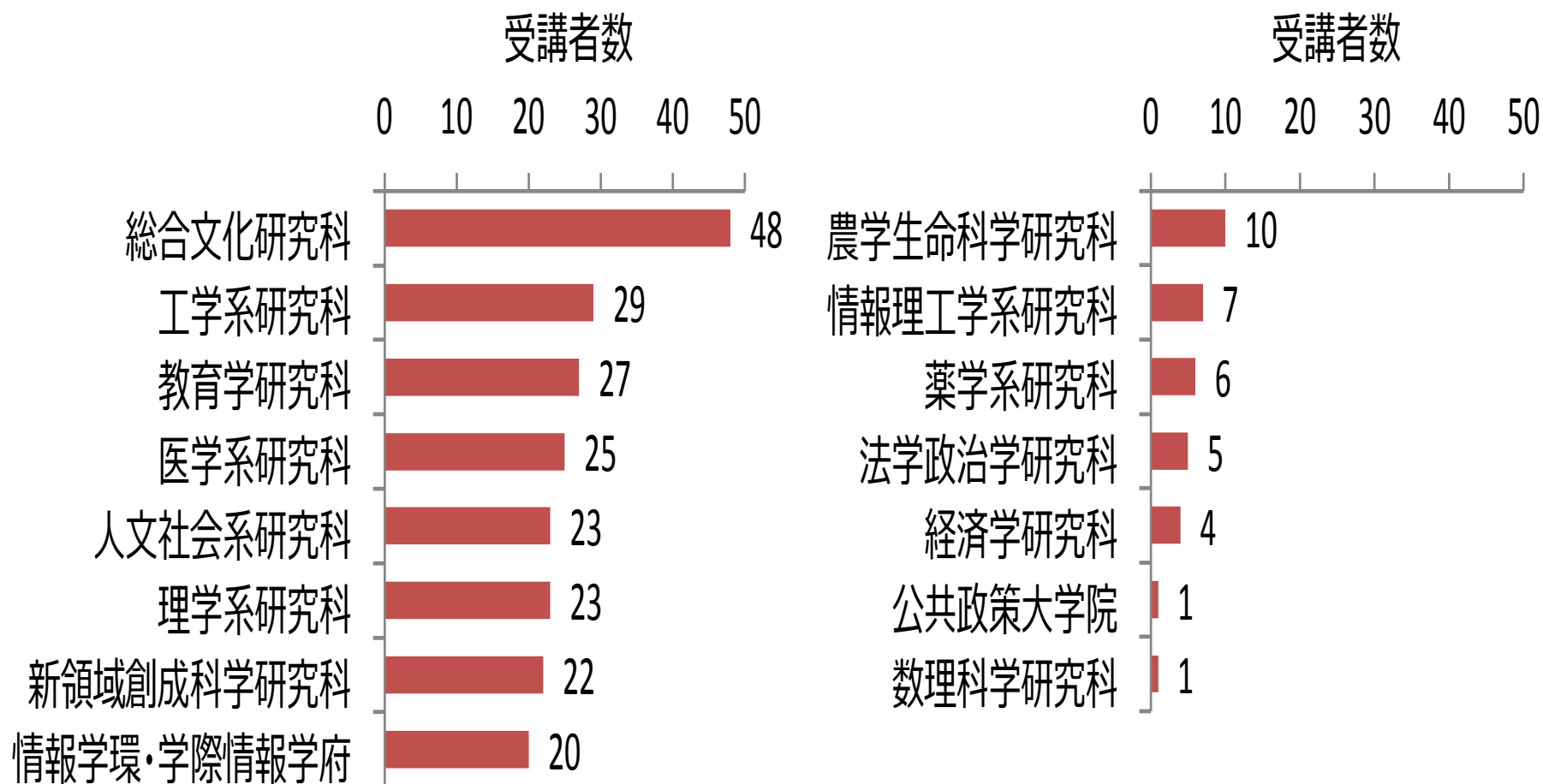
ポートフォリオチャート

東大FFP



履修証

受講生の内訳



意識や行動に変化がありましたか？

91%が「あった」と回答

- 大学教員を目指すこと,「教えること」に対する意識の変化
- 授業で学んだことの実践
- 学生として現在の授業に対する見方の変化
- 教員側の視点の獲得
- 他分野の研究者教育者とのネットワークの重要性への気づき
- 研究への好影響

東大FFP

- 実践的な教育力を育成する半期プログラム
- 専門領域を超えたネットワーク
- ミニレクチャプログラムをはじめとする修了後も継続する活発な活動

後期もあります！

プレエントリーはこちら

<http://www.todaifd.com/entry>

ミニレクチャプログラム～テーマ～

- ・講師はFFP修了生
- ・アクティブラーニングを取り入れた授業を実践

新しい図書館

×

新しい教育

ミニレクチャプログラム ～本日の予定～

ミニレクチャ1

「文化外交政策をデザインしてみよう

－文化外交先進国フランスの事例に学ぶ－

学谷亮さん(総合文化研究科地域文化研究専攻)

ミニレクチャ2

「『空気を読む』の『空気』って何? -面目行為と方針-」

大西未希さん(学際情報学府学際情報学専攻)

トークセッション

- ・講師二人＋司会でトーク
- ・みなさまからの質問を受け付けます
- ・ミニレクチャについて、研究について、なんでもOK！